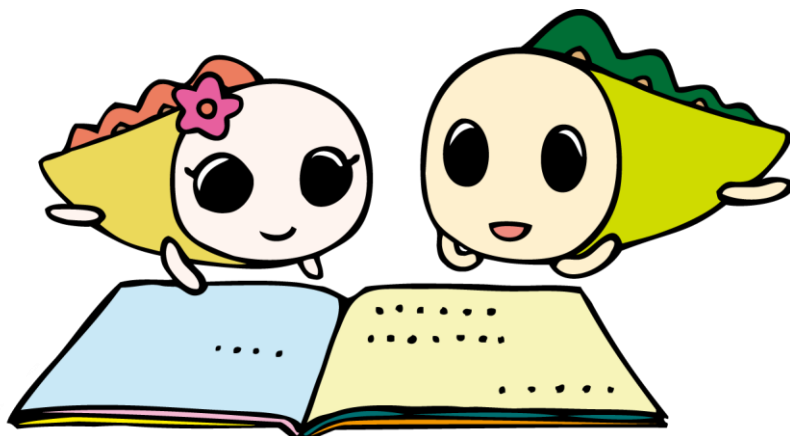


杉並区の外国人 ミニデータブック

～YOUはどこから来たの、そして何してるの～

杉並区交流協会

Suginami Association for Cultural Exchange



1.急速に進む国際化と外国人

(1)2020年東京オリンピック、パラリンピックの開催

(2)急増する外国人観光客

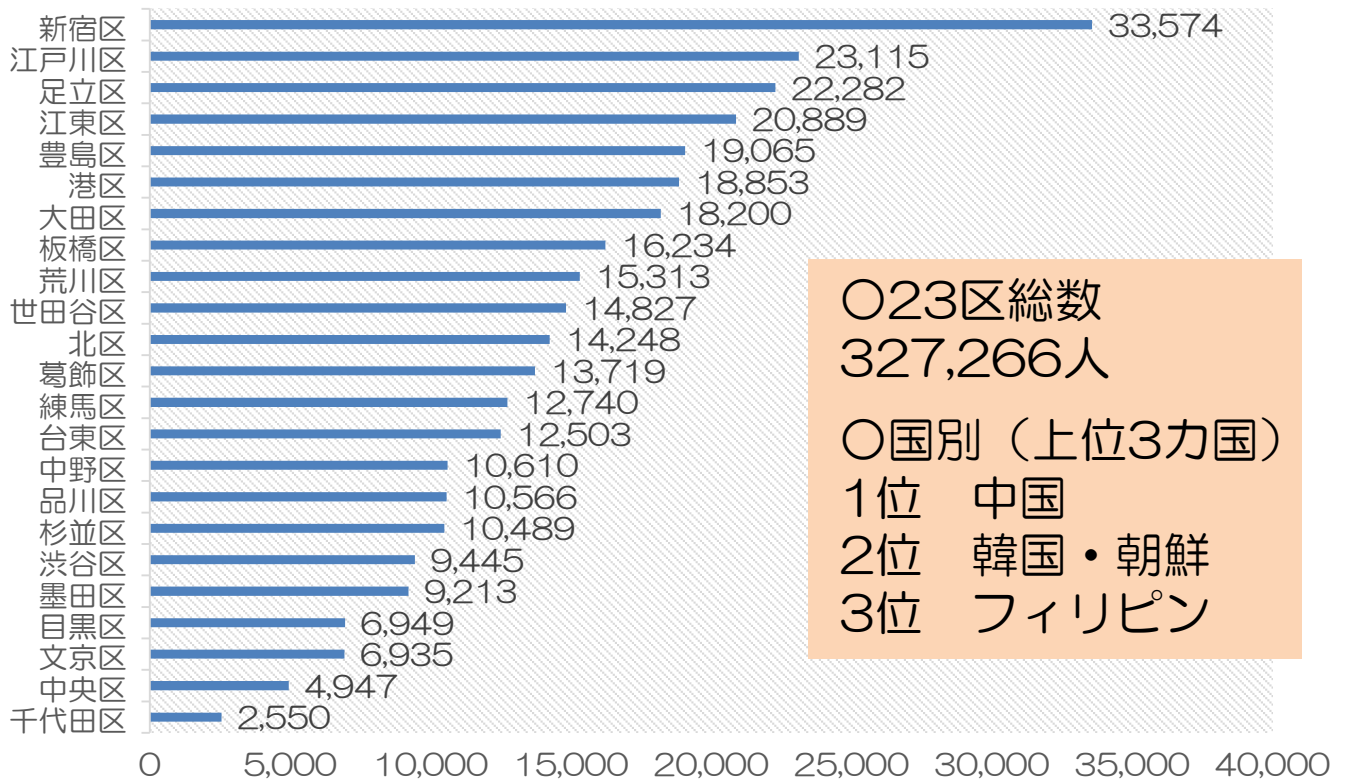
2004年600万人→2014年1300万人を越える

- 1位 中国・香港 333万人
- 2位 台湾 282万人
- 3位 韓国 240万人
- 4位 アメリカ 89万人
- 5位 オーストラリア 30万人

2020年には2000万人に

出典:日本政府観光局(JNTO)

a.東京23区における在住外国人人数



・東京23区で一番外国人の多い区は、新宿区で、区の人口の10.5%となっています。実に人口の10人に1人が外国人です。

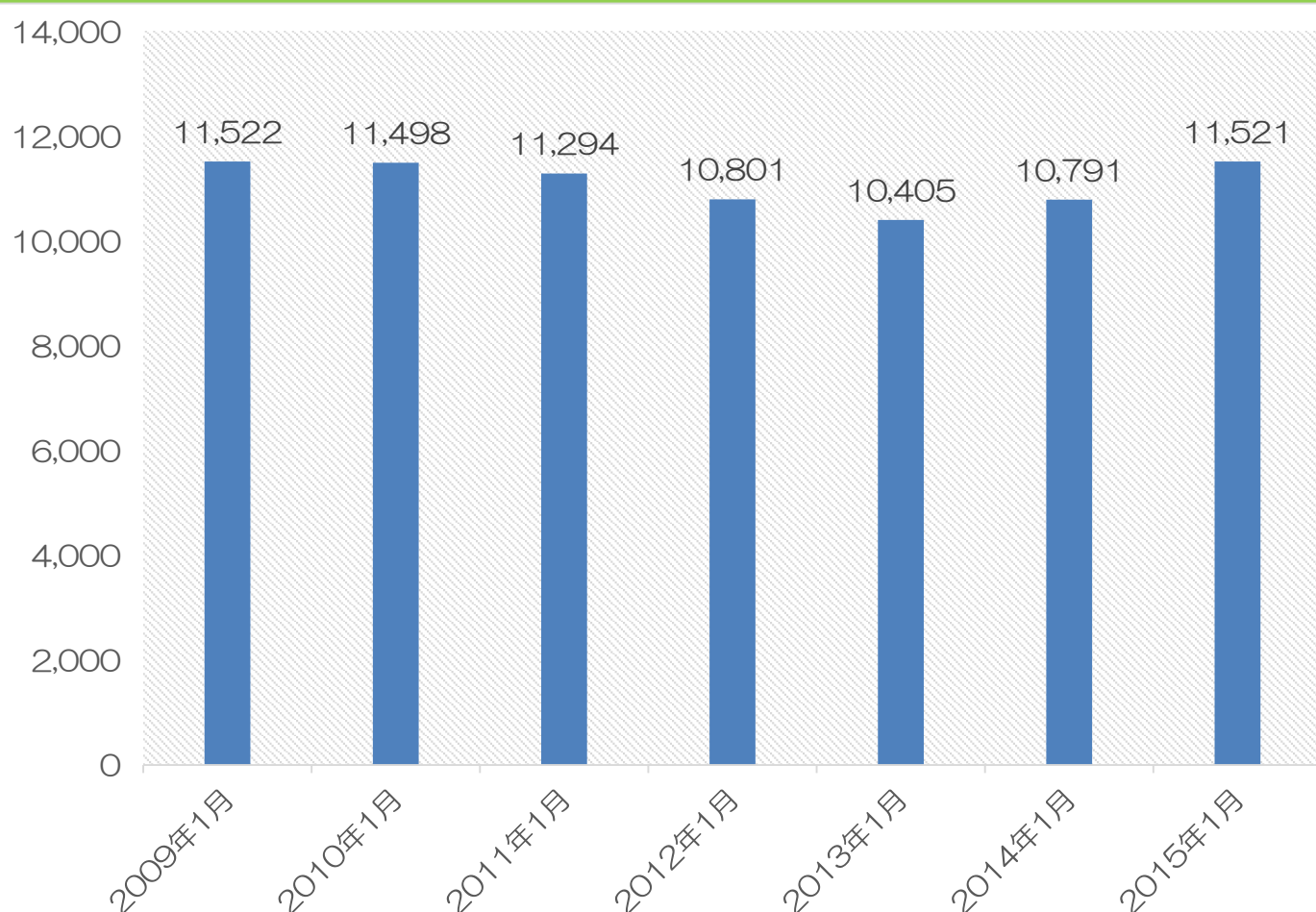
・杉並区の在住外国人数は、上から17番目です。

出典:特別区の統計(平成26年度版)

2.杉並区の在住外国人の特徴

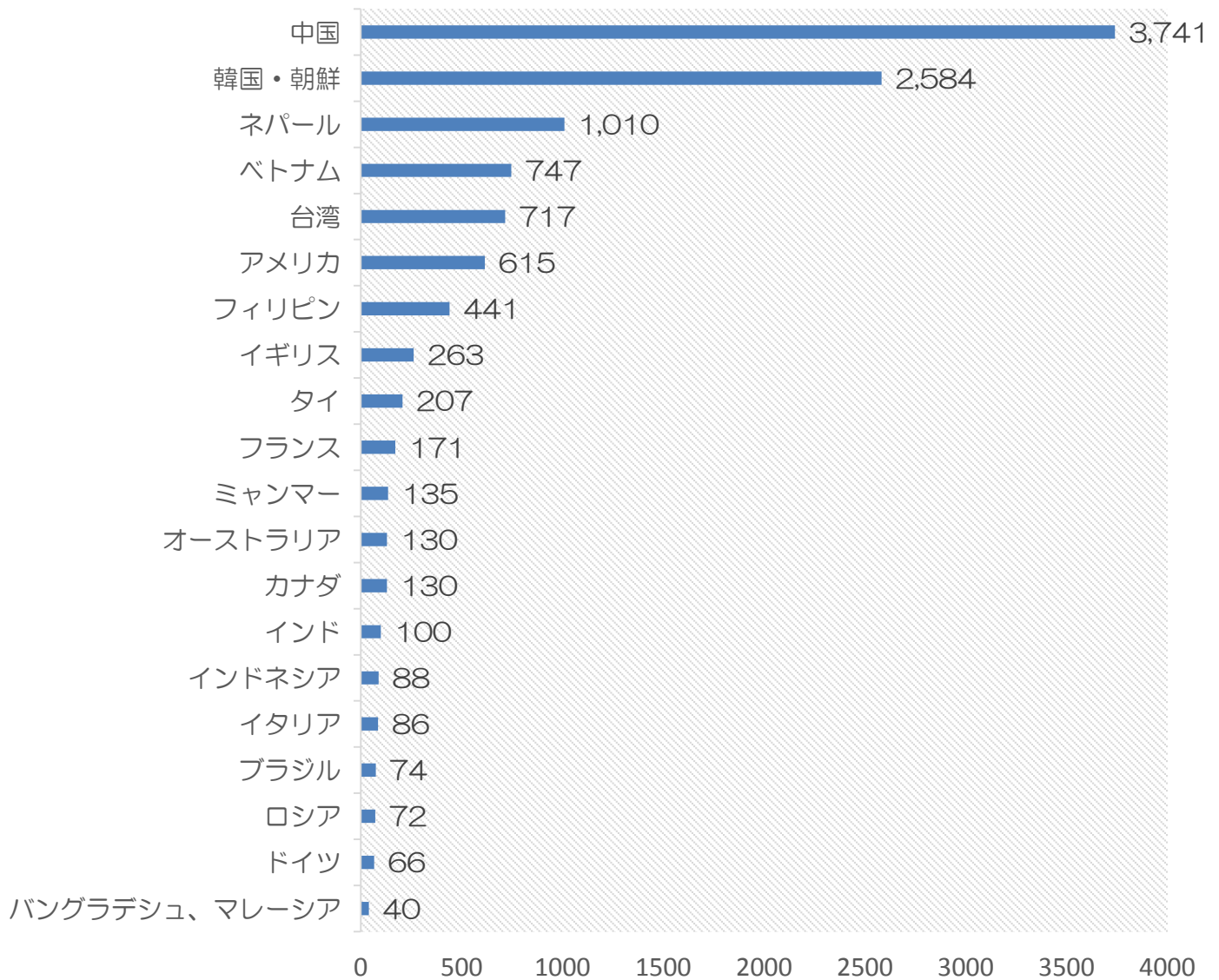
- (1) 杉並区には、12,082人の外国人が在住(2015年4月末)
- (2) 国別で多い順に、中国、韓国・朝鮮、ネパール
- (3) 急増するネパール人 1000人をこえる
 - ・2013年5月にネパールのインターナショナルスクールが阿佐ヶ谷に(生徒数は2013年30名→2015年100名を越える)
 - ・中央線沿線のカレー屋さんの多くはネパール人
- (4) 在留資格で一番多いのは留学
- (5) 住宅都市を反映して通訳や講師などの仕事に従事する人や家族としての滞在、日本人の配偶者が多いのが特徴

b.杉並区の在住外国人数の推移

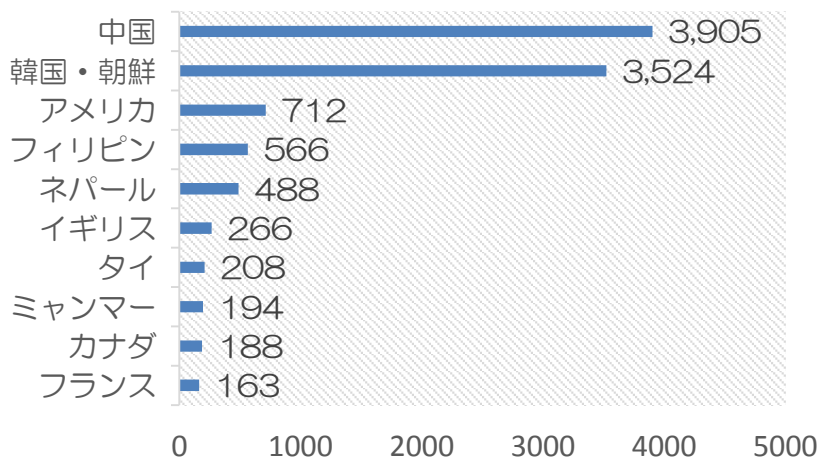


c.杉並区の国別在住外国人人数（上位20カ国）

2015年（4月末）

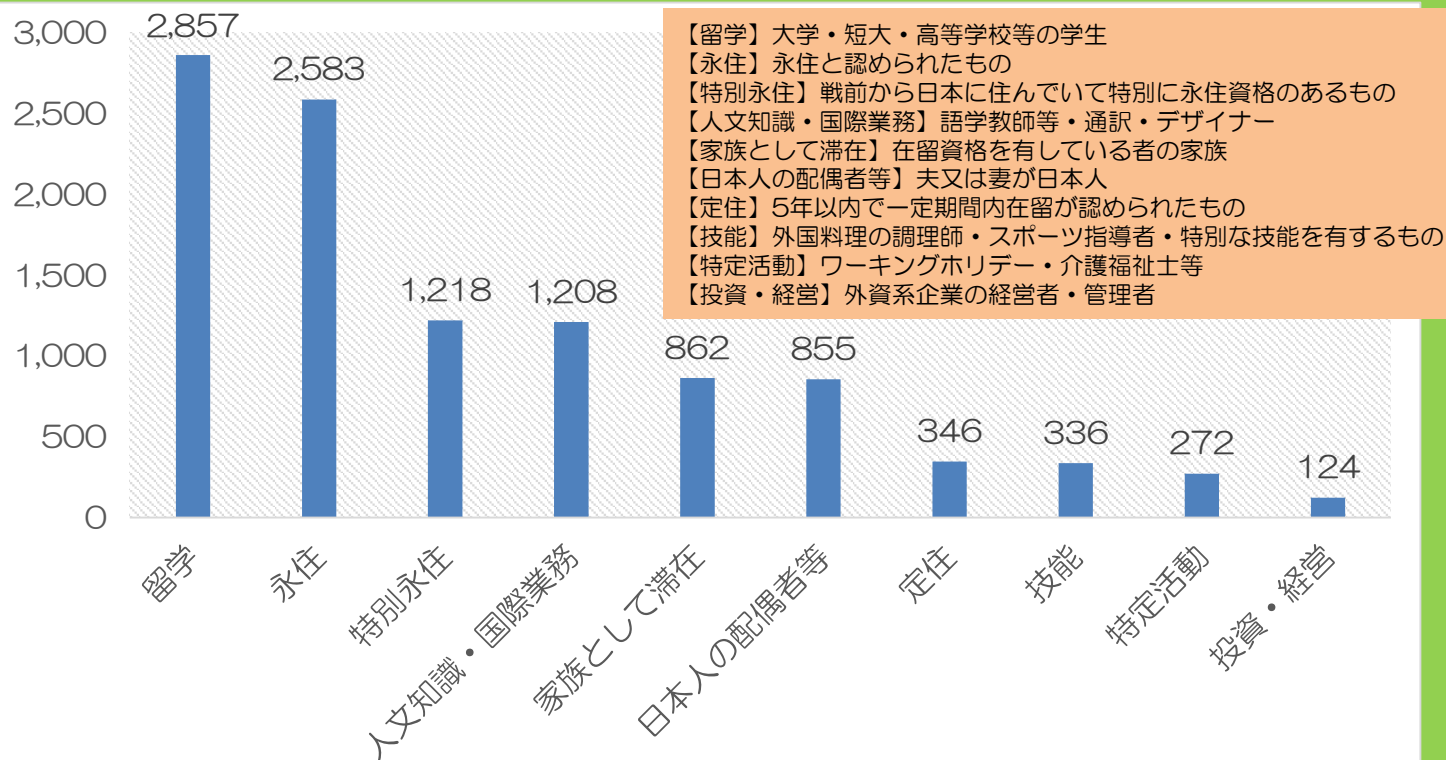


2009年（4月末）・上位10カ国



※2009年の中国は台湾を含みます

d.在留資格-杉並に住んでいる理由（上位10個）



杉並区調べ（平成26年12月現在）

e.杉並区に住んでいる外国人の悩み -交流協会に寄せられた相談（上位15個）-

2013年	2014年
①国民健康保険	①日本語教室・日本語を学びたい
②日本語教室・日本語を学びたい	②国民健康保険
③住民税	③通訳翻訳依頼（区関係）
④通訳翻訳依頼（区関係）	④杉並区への転入・転出
⑤区役所証明書関係	⑤就労関係
⑥杉並区への転入・転出	⑥医療関係
⑦就労関係	⑦年金
⑧他協会・相談窓口案内	⑧住民税
⑨福祉	⑨離婚
⑩確定申告	⑩他協会・相談窓口案内
⑪医療関係	⑪在留資格
⑫在留資格	⑫杉並区の情報・施設
⑬年金	⑬学校教育
⑭杉並区の情報・施設	⑭確定申告
⑮結婚	⑮保育関係

杉並区交流協会調べ